一人ひとり一つひとつを 大切に。
三井住友海上グループホールディングス
MSIG

MSIG Quarterly Report

三井住友海上グループホールディングス株式会社
広報部　〒104-8252 東京都中央区新川2-27-2　TEL:03-3297-6480(代表)　http://www.msig.com

２００９年4月１０日

２００８年度第４四半期（１～３月）の三井住友海上グループのトピックスをご案内します。

１．当社グループの中核事業会社である三井住友海上社（単体）の営業概況

＊２００９年1～3月、速報ベース、傷害・一般計には長期医療を含む

第四半期は、景気悪化の影響が大きく自動車保険で２．１％減収となりました。一般計でも前期比４．７％の減収となりました。

（金額単位：百万円）

種目名	第４四半期（１～３月）		年度累計（４～３月）	
	収入保険料	増収率（%）	収入保険料	増収率（%）
自動車	１２９，１１０	▲２．１	５３６，３７８	▲２．０
自賠責	３３，７７２	▲２１．１	１２６，６４５	▲２５．９
火災	４９，６５４	２．７	２０２，４６２	０．７
傷害	３０，７９３	１．５	１２１，７１６	▲０．２
新種	３４，７８７	▲０．５	１６３，９３９	▲２．５
貨物	１２，７６９	▲２５．６	６５，５８２	▲７．８
船舶	４，６８６	▲２．４	２８，８２１	４．１
一般計	２９５，５７１	▲４．７	１，２４５，５４４	▲４．８

２．主なニュースリリース（２００９年1～3月）　※カッコ内はニュースリリースの日付

（1）　業務改善計画

○　業務改善計画の実施状況について（1月２１日）

三井住友海上社は、第１８回の業務改善計画実施状況の報告を金融庁に提出しました。ガバナンス、保険金支払管理態勢の強化についてなどを報告しました。その他、契約者保護、契約者利便、法令等遵守態勢の強化について報告しました。

（２） 国内損保事業

○ あいおい損保、ニッセイ同和損保、三井住友海上グループによる経営統合および業務提携に関する協議の合意について－世界トップ水準の保険金融グループの実現に向けて－（１月２３日）

あいおい損害保険株式会社、ニッセイ同和損害保険株式会社、三井住友海上グループは、株主総会の承認と関係当局の認可等を前提として、新たな保険金融グループの形成を目指して、２０１０年４月での経営統合および業務提携に関する協議を進めることについて合意に達しました。

（３）金融サービス、リスク関連事業

○ 米国で日系損保初の天候保険の販売を開始（１月７日）

三井住友海上社は、米国子会社の三井住友海上ＵＳＡ社とＭＳＩギャランティードウェザー社（以下ＭＳＩＧＷ社）による天候保険の販売体制を米国カンザス州で整え、日系損保初となる天候保険の販売を開始しました。全米５０州での販売体制の構築を図り３年間で１０億円の売り上げを目指します。

○ 新型インフルエンザ対策に関する従業員向けＤＶＤの販売を開始（１月２６日）

三井住友海上社のグループ会社であるインターリスク総研は、国内で初めて企業の新型インフルエンザ・パンデミック対策において従業員啓発用のＤＶＤの販売を開始しました。
本ＤＶＤにより、新型インフルエンザの概要や個人が取り組む対策等について、音声と映像を組み合わせた効果的な教育を可能とし、均質で効果的な啓発を幅広く行うことが出来ます。

○ 国内最大規模の「パンデミックサミット」を開催（１月２７日）

三井住友海上社のグループ会社である株式会社インターリスク総研は、新型インフルエンザ対策コンソーシアムと共同で、「パンデミックサミット～迫る新型インフルエンザへの明確な対応～」を、３月４日（水）に、東京国際フォーラムで開催しました。
新型インフルエンザ対策コンソーシアムでは、本サミットでの講演や展示を通して、新型インフルエンザの最新動向や対策について解説・提言を行いました。

○ 「ベスト ディーラー イン アジア」 を受賞（３月１６日）

三井住友海上社の米国子会社であるＭＳＩＧＷ社は、英国の月刊誌「Environmental Finance」主催の天候デリバティブ部門におけるアジアの最優秀ディーラーに与えられる、「Best Dealer in Asia」を受賞しました。当社は今回で３回目の受賞となりますが、これまで日系損保の受賞はＭＳＩＧＷ社のみです。グローバルな天候デリバティブ市場において、当社およびＭＳＩＧＷ社は、今後もアジア地域及び北米地域を代表するプレーヤーとして、業容の拡大を目指します。

○ 国内上場企業の新型インフルエンザ対策実態調査を実施
～新型インフルエンザ対策を進める企業が大幅に増加～ （３月２４日）

三井住友海上社のグループ会社である株式会社インターリスク総研は、前回２００８年６月に続き、国内全上場企業３，８７３社に対し、「新型インフルエンザ対策の実態調査」を実施し、回答状況をまとめました。
三井住友海上社およびインターリスク総研では、今後も、企業に対する新型インフルエンザ対策の一層の普及と企業ごとの実態に即したコンサルティングサービスを展開していきます。

○　業界初、防火管理規程の作成コンサルティングを開始（３月３１日）

三井住友海上社のグループ会社である株式会社インターリスク総研は、長年にわたる防災支援ノウハウを活かし、製造業や商業施設等を対象とした防火管理規程の作成を行うコンサルティングを業界で初めて開発し、３月３１日よりサービスの提供を開始しました。

近年消防行政においては、消火活動の充実はもとより、火災の未然防止や早期発見や損害拡大防止のための予防の重要性が注目され、これらの強化が推進されています。本情勢を踏まえ、対象企業に対して積極的に提案していきます。

（４）環境・社会貢献活動

○　財団法人三井住友海上福祉財団　２００８年度 海外「研究助成」対象地域にタイを追加（１月２８日）

財団法人三井住友海上福祉財団は、２００８年度の海外における研究助成として合計７件総額４００万円を決定し、２００９年１月１３日（火）にシンガポール、１４日（水）にタイ、とそれぞれ現地にて助成金贈呈式を開催しました。海外での研究助成は、２００７年度のシンガポールより開始しましたが、今年度からは助成対象地域にタイを追加し、海外での支援をより一層拡大しました。

今後も、引き続きアジアを中心に、交通社会の健全な発展、高齢社会の福祉増進に積極的に支援していきます。

○　～環境問題について共に考える～　第９回市民環境講座を開催（２月１９日）

三井住友海上社は、駿河台ビル近隣の方、都市の緑化や環境問題に関心のある方などを対象に、第９回市民環境講座を開催しました。

今回は、都心においてもさまざまな種類の野鳥が生息していることに気づいていただくとともに、野鳥を身近に楽しむためのノウハウについて、野鳥写真家の叶内拓哉（かのうち　たくや）さんから貴重な写真を使って講演いただきました。

三井住友海上社では、１９８４年の駿河台ビル（東京都千代田区）竣工以来、周辺地域の環境改善や景観形成に努めてまいりました。今後も更に、近隣の方をはじめとする一般の方々と環境問題について共に考え、取り組んでいくことを目的に「市民環境講座」を開催していきます。

○　三井住友海上文化財団
２００９年度「地域住民のためのコンサート」開催地および「文化の国際交流助成先」決定（２月２０日）

三井住友海上社の社会貢献事業機関である三井住友海上文化財団は、２００９年度「地域住民のためのコンサート」を共催する３２の市町村と「文化の国際交流活動に対する助成先」として１２のアマチュア団体を決定しました。

同財団では、音楽・郷土芸能などの文化活動を助成することにより、地域における文化の振興および国際交流促進を図り、わが国文化の向上・発展に貢献することを目指していきます。

○　三井住友海上が「消防署」パビリオンを出展
２００９年3月２７日　ららぽーと甲子園に「キッザニア甲子園」開業（３月１８日）

三井住友海上社は、２００９年３月２７日に開業した「キッザニア甲子園」へキッザニア・オフィシャルスポンサーとして「消防署」パビリオンを出展しました。

当パビリオンのアクティビティを通じて、次世代をになうこども達が楽しみながら消防士の仕事の責任の重さや防災の大切さを感じてほしいと考えています。今後もこども達の笑顔あふれるパビリオンに育ててまいります。

３．スポーツ・トピックス

○　女子柔道部

・「２００９ドイツ国際柔道大会」（２月２１日～２２日）

ドイツ・ハンブルクで開催された「２００９ドイツ国際柔道大会」に、３名の選手が日本代表として出場し、中村美里選手(52kg級)、上野順恵選手(63kg級)が優勝、山岸絵美選手(48kg級)が３位に入賞しました。

○　女子陸上競技部

・２００９大阪国際女子マラソン（１月２５日）

大阪・長居陸上競技場で開催された「２００９大阪国際女子マラソン」で、渋井 陽子選手が優勝、大平 美樹選手が４位に入賞しました。

本大会は「２００９年世界選手権」（ドイツ・ベルリン８月１５日～２３日）代表選考会を兼ねており、優勝した渋井選手は女子マラソン日本代表に内定しました。

・東京マラソン２００９（３月２２日）

「東京マラソン２００９」（東京都庁～東京ビッグサイト）が開催され、土佐 礼子選手が３位に入賞。山下 郁代選手が初めてのマラソン挑戦で、１１位となりました。